

発言者	内容
司会（会長）	社会科（公民的分野）の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	公民は各社の個性が出ているよう。東京書籍は、丁寧にまとまっている。QRコードからのリンク先のサイトもしっかりと作られていた。
委員	主体的、対話的な学びを意識した教科書の作りである。
委員	内容が充実している教科書という印象である。しかし、内容が充実している反面、詰め込みすぎであり、大切な項目を整理しにくいという印象がある。
委員	128ページのコンビニの内容では、生徒自身を経営者にさせて「どこにたてたらいいのかな」などの質問が良い。スキルアップも発問の工夫があった。ただ、内容が多い。コラム系や内容は充実していた。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	全体の色の使い方として、赤やピンクが多いのが気になった。調査報告より兵庫県の記載が少ないのが気になった。
委員	同じく、兵庫県の記載が少ないのが気になる。
委員	他社と比較して、特筆するような内容はないが、章の最後に内容を確認できるページがあったのがよい。
委員	文字が少し太いような気がした。
司会（会長）	帝国書院についていかがか。
委員	尖閣諸島の写真を見て、驚かされた。ただ、日本と中国との現在の関係を理解する上では、知っておかなければならない内容であるため、良い資料だと感じた。
委員	領土関係について、地理でものっていたが公民でも掲載されており、学習のふりかえりができる内容である。
委員	従前の帝国書院の教科書と比較して、内容が充実している。生徒が学びやすくなるような工夫が多く見られた。
委員	導入部分の写真のスペースが大きすぎるような気がした。全体的に堅苦しい

	感じがするが、内容が充実している。
司会（会長）	日本文教出版はいかがか。
委員	加古川市が掲載されているのが、生徒が親しみを持って学習しやすい。アクティビティが充実しており、生徒にとって主体的に取り組める工夫がされている。
委員	アクティビティは良い。調査報告にあるように資料の選定が良い教科書である。
委員	毎時間言語活動が取り入れられている点は、新しい指導要領に即してはよいが、イラストがやや幼い印象であった。
委員	全体的には見やすい印象である。
司会（会長）	自由舎はいかがか。
委員	文章が難解な感じを受けるため、教科書として使うのが難しい。
委員	写真や資料がやや少ないと感じた。空白(白地)があるため、すっきりと見やすいがメッセージ性が強く、文章に偏りがある。
委員	写真や資料が少なく、深い学びに繋げづらい。
委員	思考を助けるイラストの工夫が少なく、生徒には難しいと感じられる。
司会（会長）	育鵬社はいかがか。
委員	作り手の主観を強く感じる内容となっている。拉致問題では、横田さんについて掲載している点が、評価できる。学校現場でも触れてほしい内容である。他社と違い、新しいことにチャレンジしている部分を評価したい。
委員	社会の教科書として何をどのように載せるべきか考えさせる内容である。
委員	ICT の活用ページが少ない。日本国憲法の成立についての記載が多く、内容に偏りがあると感じられた。
委員	作者の主観が入っている部分が多くみられるのが気になった。
司会（会長）	総括をする。
委員	社会科の他分野との連携や全体のバランスを考え、発展的な学びができるのは帝国書院と東京書籍の2社である。

司会（会長）	二つの中では、帝国書院を第一に、日本文教出版を第二に推薦する。
--------	---------------------------------